

私は、政清会を代表いたしまして、議案第1号から議案第7号までの議案7件、令和3年度一般会計予算及び各特別会計予算並びに事業会計予算の全てに、賛成する立場で討論いたします。

令和3年度一般会計予算について、賛成理由を申し上げます。

歳入から申し上げますと、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた市税は、所得の落ち込みによる個人市民税の減少、企業収益の落ち込み及び税制改正の影響による法人税の大幅減、評価替えによる固定資産税の減などにより、市税全体で約11億円の減少が見込まれております。

市税が大幅な減収となる一方で、地方の財源不足を補う普通交付税については、原資となる国税の減収により大きな伸びが見込めず、代わりに臨時財政対策債が大幅増となっておりますが、市債発行総額が公債費の元金償還額を上回らないよう、交付税措置のない通常債の発行を抑制するなど、財政の健全性に配慮されております。

一般財源の確保が厳しい中、全庁を挙げた新たな財源確保策の検討やゼロベースでの事業見直しの実施により、財政調整基金の取り崩しを最小限に抑えられていることを評価いたします。

歳出について申し上げますと、本庁舎のボックス型授乳室の導入、令和4年に開館予定の子ども館整備事業のほか、子育てサービス等利用支援助成金、休日預かり保育事業、清水公園駅東地区の新設保育所に対する保育所等施設整備事業補助金、ゼロ歳児や障がい児等の受け入れ体制確保のための私立保育所等に対する補助金など、子育て支援を充実させる施策が計上されていることを評価いたします。

また、GIGAスクール構想による1人1台の端末整備のための情報通信ネットワーク環境整備用備品費が計上され、学校施設整備等基金を活用した前倒し1校分を含む小学校3校のトイレ改修工事にかかる設計委託料など、教育環境の充実が図られているとともに、オリンピック後の利用者増を見据えた総合公園スケートボードパーク改修工事が計上され、文化・スポーツの振興にも配慮された予算となっております。

また、重層的支援体制整備事業への移行準備事業、精神障がい者福祉手当、障がい者緊急一時保護費等助成事業などの新規計上に加え、令和3年9月にリニューアルオープンとなる老人福祉センター大規模改修工事が計上されるとともに、まめバスの充実と交通不便地域対策など、社会福祉向上につながる施策が市民目線で、きめ細やかに配慮されていることを評価いたします。

さらに、連続立体交差事業及びその関連事業である愛宕駅西口駅前広場等整備費、野田市駅西土地地区画整理費及び中野台中根線道路改良事業費、愛宕駅西口歩行者専用道路といった、新たな街の賑わいの創出、発展可能性のタネとなりう

る事業が計上されていることを評価いたします。

併せて、災害時における職員参集及び情報共有システムにかかるメール配信業務委託料、防火水槽漏水修繕工事、消火栓新設工事が計上され、そのほか備蓄品の更新経費が増額計上されるなど、安心安全なまちづくりに向けた取組に力を入れていることを評価いたします。

以上、主なものを取り上げましたが、令和3年度一般会計予算は総額 509 億 7 千 200 万円で、前年比 1. 2 %、5 億 9 千 400 万円の減少となったものの、事務事業のさらなる見直しにより、一括購入することで市全体の消耗品費を縮減したり、これまで業務委託により実施していたものを職員が行うことで経費の削減を図ったりするなど、市民サービスに影響のない形で経費削減に努める一方で、公用車や刊行物の広告料収入や財政調整基金の一部債券運用など、新たな財源確保策の導入がされており、コロナ禍においても「元気で明るい家庭を築ける野田市」の実現に向けた施策を可能な限り盛り込んだ適切な予算であると評価いたします。

また、国民健康保険、介護保険、次木親野井特定土地区画整理事業、及び後期高齢者医療の各特別会計予算並びに水道事業会計予算及び、下水道事業会計予算についても、それぞれの目的に沿った適切な予算措置がなされていると評価致します。

以上のことから、私は、令和3年度一般会計予算ほか全ての予算に賛成いたします。

最後に、当局におかれましては、令和4年度以降の財政状況はますます厳しくなることが予想されることから、適切な予算執行をお願いしまして、私の賛成討論を終了したいと思います。